

令和４年度第１回相生市総合教育会議会議録

日 時	令和４年５月２０日（金）１３時３０分から１４時５０分		
会 場	市役所 ３階 議員控室		
出席者	谷口 芳紀	市長	
	浅井 昌平	教育長	
	萩原 喜樹	教育長職務代理者	
	小西 毅	教育委員	
	西田 香子	教育委員	
	頭島 恵美	教育委員	
説明員	玉田 直人	企画総務部長	
	宮崎 義正	教育次長（管理担当）	
	山本 哲也	教育次長（指導担当）	
	佐原 正樹	管理課長	
	木本 博子	学校教育課長	
	桑名 雅彦	生涯学習課長	
	平松 孝夫	体育振興課長	
	鈴木 高志	人権教育推進室長	
	富田 大三	管理課副主幹（書記）	
傍聴者	１名		

１ 開会

２ 市長挨拶

本日は、令和４年度第１回相生市総合教育会議を開催させていただきましたところ、公私ご多忙の中、全員の皆様にご出席いただきありがとうございます。

５月に入り、過ごしやすい気候となつてまいりました。いよいよ来週の日曜日は３年ぶりのペーロン競漕を開催させていただきます。

今年は、市制施行８０周年であり、ペーロン伝来１００周年の記念すべき節目の年であります。この記念の年を、未来に向けた更なる発展の年と捉え、将来に向けた取り組みを一層加速させようと考えております。

そのためには、コロナ対策を引き続き行いながら、アフターコロナを見据えたまちづくりを積極的に進めてまいりたいと考えており、その一環として行政のデジタル化を推進したいと考えております。また、引き続き「教育・子育て・定住施策」を中心としたまちづくりは継続して進めさせていただき、子どもたちにとって、よ

り良い教育環境を提供できるよう予算措置等を講じてまいりたいと考えております。委員の皆様には、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、この総合教育会議は、今後の「相生の教育」の大きな方向性を決定する会議であり、非常に重要な場であります。委員の皆様と忌憚の無い意見交換をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

3 協議事項

(1) 相生市の教育に関する重点施策について

ア 令和4年度の重点施策について

管理課長

令和4年度の重点施策については、「相生市教育振興基本計画」に基づき、進めています。令和4年度の「相生の教育」の主な事業を提出させていただきました。

(管理課より機構順に事業概要説明)

管理課	「相生市立小中学校適正配置計画策定事業」、「市立幼稚園無線LAN整備事業」
学校教育課	「相生型ハイブリッド学習推進事業」、「ながら見守り835（ハチサンゴー）推進事業」
生涯学習課	「図書館公衆無線LAN整備事業」、「図書館読書記録通帳事業」
体育振興課	「市民体育館バリアフリー化事業」
人権教育推進室	「ケータイ・スマホ教室」

教育次長（管理担当）

ただいま事務局より令和4年度の主要な事業をご説明させていただきました。ここで、相生型ハイブリッド学習推進事業について、ICTを活用した授業、学校での活動の様子をご覧ください。準備を行う間、暫時休憩をいただいでよろしいでしょうか。

谷口市長

準備の間、暫時休憩とします。

谷口市長

休憩を解きます。

(学校教育課より、スライドにより小中学校のICTの授業風景等を説明)

管理課長

ただいまご説明した事業が令和4年度の主要な事業となります。参考に、4ページには学校教育分野の課室ごとの主な事業一覧、5ページには、生涯学習分野の課室ごとの主な事業一覧を掲載しておりますので、ご清覧願います。これらの事業により、教育振興基本計画の推進を図ってまいりたいと考えております。説明は以上です。

教育次長（管理担当）

それでは、ただいまの説明について、ご協議をお願いいたします。ご質問等もあわせて受けさせていただきます。

谷口市長

障害を持っておられる方から以前より要望がありました体育館のエレベーターについては、今年度に設計し、来年度工事を予定しています。

谷口市長

先ほどの動画の中にイベント広場というのがあったが、全ての小学校にあるのか。

教育次長（管理担当）

双葉小学校だけになります。

西田委員

図書館の記録帳についてですが、子どもの時から継続していくものになりますか。

生涯学習課長

配付についてですが、幼稚園、小中学校の子どもたちには学校園を通じて、配付をしていきたいと考えております。新生児については、ブックスタートという絵本を配る事業があるので、それに併せてお渡しするということを検討しています。また、高校生以上の方には、希望する方に順次、配布していきたい。

この配付した記録帳を使って図書を借りるたびに記帳いただき、いっぱいになると新たなものに引き継いで、使い続けていただくものとなります。

西田委員

記録帳がいっぱいになれば、何かいただけたりするのでしょうか。

生涯学習課長

現状ではそういったことは考えておりませんが、今後、イベント的なことを含めて指定管理事業者と検討して事業を進めていきたい。

西田委員

これは図書館にある紙の書籍だけになりますか。

生涯学習課長

貸出可能な紙の書籍のみとなります。

西田委員

ありがとうございました。

谷口市長

リモート授業が進んでいけば、例えば双葉小学校で先生が授業をすれば、同じものを矢野小学校や若狭野小学校で受けることができるということになるのか。

学校教育課長

学校ごとに進捗が異なる場合があるため、全てとなると難しいですが、合同で勉強しようとしたものについては可能です。

谷口市長

他に特にご意見等ないようでしたら、次に進ませていただきます。

教育次長（管理担当）

それでは、「協議事項3（1）のア」について、ご了解いただいたということでしょうか。

市長及び教育委員

了解

教育次長（管理担当）

只今いただいたご意見等を尊重し、令和4年度の事業を進めていきます。

4 意見交換

教育次長（管理担当）

協議事項3（1）のイ その他について説明いたします。総合教育会議は市長と教育委員会が、教育に関する諸条件整備や重要施策について協議や意見調整を行っていただく会議となっております。そこで、今後の教育について、まず、教育長職務代理から順に各委員の相生市の教育に関する所感をお聞かせいただき、次に、市長の教育に関する所感をお聞かせいただきたいと思います。その後、市長と各委員による自由意見交換を行っていただきたいと思いますと考えております。

それでは、萩原教育長職務代理からよろしくお願いします。

萩原教育長職務代理

この2年半のコロナ禍において、学校園や教育施設においてはコロナ対策を徹底いただき、大きな感染もなく過ごせているというのが本当にうれしく思っております。

昨年この時期は、感染者が県で200人から300人ということでしたが、今では昨年より10倍も多い感染者の中にあってもワクチンの効果もあると思いますが、慣れというものがでてきているとも感じているので、これからも気を抜かず至今までの感染対策を継続していきたいと考えています。

また、先ほど各課より今年度の重点施策が示されましたが、昨年度と同様、相生市の教育に大きな効果があがることを期待しています。

さらに、今年は市ではペーロン伝来100周年であり、学校では相生小学校と那波小学校が設立150周年という大きな節目の年になっております。これを機に子どもたちには、自分たちのふるさと相生を好きという意識を持ってもらうことが大切ではないかと思っています。どの学校でも地域に根差した教育をやっていますが、特に数年前から相生小学校では、ふるさと大好きプロジェクトというものをやっています。これは地域に出かけて行って、人とのふれあいや施設のみなさんに色々なことを教えていただきながら相生のまちを好きになろうという取り組みです。こういった取り組みが、将来、相生を好きな人を育てるのではないかと思っています。市長が常々、まちづくりは人づくりだとおっしゃっています。ふるさとを愛する人づくりというものは、大きなまちづくりにつながっていくと思います。

教育次長（管理担当）

次に、小西委員をお願いします。

小西委員

先ほど、ICTの活用事例を見せていただきました。それで心配するのが、自分の会社でもそうですが55歳以上の方になるとパソコンを受け入れにくい年代となっています。その年代の先生方が授業でICTを活用しなければならないということが気になりました。大変だと思いますが、頑張ってくださいと思います。

ICT活用により、学校現場は便利になると思います。例えば、ロサンゼルス大学の授業を見にいこうと思えば可能ですし、知らないことを調べようと思えば何でも調べることが可能です。個人としては、創造力が豊かな子は探求心が芽生えて、いいものだと思います。しかし、若い子たちの中でコミュニケーション能力や人の気持ちを読み取る力が弱くなってきているなということを感じます。こういった伺える力というのは、人と関わり、痛い思いや辛い思い、楽しい思いをすることで読み取るものだと思いますので、人間同士のつながりの場というものを大切にしていきたい。

教育次長（管理担当）

次に、西田委員をお願いします。

西田委員

相生型ハイブリッド学習についてです。ICTの活用というのはいいと思いますが、やはり人とのふれあいの部分に心配があります。相生型ハイブリッドのように両方のいいところをとると本当にすばらしいものになると思いますので期待しています。また、紙の本を開いた時のワクワク感や書いて覚えるというのもよかったと思いますので、今後に残していつていただきたいと思います。どちらかが置いて行かれないようにお願いします。

次に、コロナの関係ですが、最近は会場の制限が緩和されてきて、お客さんが満員というのがみられるようになりました。私の感覚では、満席となると少し心配な部分があって、席のどちらかが空いている方がまだ安心できるので、その部分については考えていただきたい。

谷口市長

なぎさホールの制限は、どうなっているのか。

教育次長（管理担当）

声を発さないコンサート等については満員、声を発するものについては制限を半分としております。

教育次長（管理担当）

次に、頭島委員お願いします。

頭島委員

教育委員に任命いただいてから日も浅く、総合教育会議は初めてとなりますので、保護者としての感想を言わせていただきます。5月の連休あたりから人出も多くなってきて、日常を取り戻しつつあると感じているところですが、先日、子どものワクチン接種を無事に終え、コロナに気をつけながら、家での生活をしています。学校では、自動水栓の整備もしていただいたり、感染防止対策を十分にいただいているので、親としても毎日、安心して通わせることができます。中学校の子どもがいますが、部活動も通常に戻っています。これも、多くの方のサポートがあるおかげで学校生活が送れていると感じています。当たり前になっていたことができなかった2年間を経験して、その当たり前が戻ってきている中で、当たり前というのは色々な方のサポートがあってこそということを子どもに伝えて、感謝の気持ちを大事にしたいと感じています。また、保護者の方にも学校等の感染対策などの状況を伝えていきたいと思っています。

教育次長（管理担当）

それでは、谷口市長よろしいでしょうか。

谷口市長

私は、常々「まちづくり」の基本は「ひとづくり」にあると考えており、「教育施策」、「子育て施策」を相生市の重点施策の一つとして市政運営を進めさせていただいております。

令和２年度 国勢調査結果の１５歳未満の年少人口の割合を見てみますと、相生市が県下２８市町中で唯一その割合が増加しております。この結果は、平成２３年度より国に先んじて進めている施策に一定の効果が出ている証と考えております。

そういったことから、今後の「相生の教育」に期待すべき点について、私の考えを３点申し上げさせていただきます。

まず、１点目は、学校教育分野についてであります。

コロナ禍においてＩＣＴの導入を進めてまいりましたが、今後は、これらを更に活用し、子どもたちの学びの充実につなげていただきたいと思います。また、従来からの「体験活動を通じたふれあいや絆を重視した学び」と、「ＩＣＴ」の良さを活かした「相生型ハイブリッド学習」の更なる推進を図っていただきたいと思います。

人権教育では、様々な啓発活動や研修機会を通じ、人権意識の高揚を図っていただくとともに、ＳＮＳなどによる青少年の事件・事故の防止や、差別やいじめが起きないように、ケータイ・スマホ教室など、子どもたちへの学習機会の充実について、よろしくお願いいたします。

２点目は、生涯学習分野についてであります。

生涯にわたり誰もが快適に学び続けるとともに、文化芸術やスポーツに親しめるよう更なる事業の充実を図っていただきたいと思います。市民が自発的に学ぶことができる場である図書館において、更なる利活用を促進するため、新たな市民ニーズに対応した取り組みの推進をお願いいたします。

また、誰もがスポーツに親しむことが出来るよう体育館のバリアフリー化を進めるとともに、ボッチャをはじめとするパラスポーツの更なる普及を図っていただきたいと思います。

３点目は、市立小中学校の適正配置計画についてであります。今年度は、小中学校適正配置計画を策定される年と伺っております。計画の策定にあたっては、子どもの教育面を第一に考えたうえで、地域の方々の合意のもとに進めていただける計画となるよう、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、アフターコロナを見据え、子どもたちがたくましく、自らの力で未来を切り拓いていけるよう、「相生の教育」を進めていただきたいと思いますので、今年度も委員の皆様には、これまでと変わらぬ格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育次長（管理担当）

ありがとうございます。それでは、先ほどの協議事項も含めまして、自由意見交換を行っていただきたいと思います。

谷口市長

先ほどあったように、ICTが進めば、ふれあいや相手の気持ちを読み取る力というのが、おろそかになってくるような感じがしますので、その点には十分に気を付けていただいて、相生型ハイブリッド事業を進めていただきたい。よろしくお願いします。

谷口市長

文化芸術については、どうでしょうか。

西田委員

文化芸術の分野ではコロナの対策が大変だと感じています。楽屋に大人数となりますし、着付けには10分から20分かかるという状況にあります。高齢の方が多いということもありますので、コロナがおさまってきている状況ではありますが、基本的な感染対策をやりながら、弱音を吐かずにがんばっていきたいと考えております。

谷口市長

頭島委員いかがでしょうか。

頭島委員

ハイブリッド学習についてですが、家庭ではなかなか難しい分野でもあるので、学校で教えていただくことは本当にありがたいと思っています。子どもたちはさわりだと覚えるのも早いので、子どもの力ってすごいなとあらためて感じました。

小西委員

先日、元中日のピッチャーの川上憲伸が言ってましたが、この10年間でプロ野球のピッチャーの球速が6kmあがっているらしいです。今までは140kmだったものが、今では146kmになっている。体が大きくなったわけでもないなかで、ここまで球速があがったのはICTの活用ということでした。投げた直後にその場でどこが悪いのか、どうすればいいのかをチェックできるようになり、肩や体への負担も分かるようになり、無理をさせないということが徹底されてから、投手の球速があがったと説明していました。ICTを活かすのは、使い方次第という部分がありますので、ルールやマナーも含めて良い部分を広げていただきたいと思います。

あと、挨拶についてですが、先日、立ち番があって登校中の子どもたちにあいさつをした時に、恥ずかしいのか目をそらす子どもが見られたので、これからも続けていって、しっかり挨拶できる子を育てたいと思っています。

西田委員

警戒心というのもあるかと思います。

小西委員

確かに見たことない人とは話すなという部分もあって、子どもたちも線引きがむずかしいのかなとも思います。

谷口市長

横断歩道で止まった時に、渡り終わった時に班長が頭を下げてお礼をしている姿を見て、すばらしいなと感じた。登下校時に立っていただいているのは、どういった方になりますか。

教育次長（指導担当）

交通指導員、PTA、地域のボランティアの方に立ち番をしていただいております。

浅井教育長

立ち番だけではなく、生涯学習課の学校支援地域本部事業として、各学校で色々なボランティアの登録をしていただいております。

谷口市長

他にないでしょうか。

教育委員次長（管理担当）

今回いただきましたご意見を踏まえ、事務局といたしまして施策に反映すべく検討させていただき、また、関係部課とも協議をし、次回は12月を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、本日の協議事項はすべて終了いたしました。閉会にあたり教育長よりご挨拶をお願いいたします。

浅井教育長

閉会の挨拶

令和4年度第1回相生市総合教育会議を終了